

2013年度 鉄緑会大阪校 合格者の声

※一部の方の抜粋です。

東大理Ⅲ

T.S. (灘卒)

僕は鉄緑会に中1のはじめから6年間お世話になりました。鉄緑会の魅力はたくさんありますが、その中で僕が受験生にとって心強いだらうと感じる3つの魅力を挙げたいと思います。そのひとつは、鉄緑会のカリキュラムにあると考えます。毎週の宿題と復習テストは質・量ともに十分で、それをこなせば受験に向けて必要な学力が養えます。さらに、半年に一度ある校内模試は、自分が身につけた学力を確認できるとともに、学習に対するモチベーションになります。二つめは、常に刺激を与えてくれる、全国でもトップクラスの同級生たちであると思います。どの科目においても、目標とすべき友人が容易に見つかり、ライバルたちと切磋琢磨できる環境は、鉄緑会の他にはなかなかないでしょう。僕自身、同級生に追いつきたい、追い越したいという思いのおかげで頑張れたことが多々ありました。そして、三つめの魅力は鉄緑会の講師陣にあると考えます。いつも必要十分な授業を展開してくださり、単に受験勉強のこののみならず、普通の生活のことも様々なアドバイスをくださる先生方の存在は、精神的に不安定になりがちな受験生にとって非常に心強いものであるでしょう。最後になりますが、この6年間、鉄緑会ではとても多くの方にお世話になりました。チューターを受け持っていたいただいた鶴田先生をはじめ、長い間ご指導いただいた井上先生、藤原先生、井之口先生、また数下先生、門場先生、竹村先生、森田先生、置塩先生、岩重先生や事務の方々など、お世話になった方々には本当に感謝しています。ありがとうございました。

東大理Ⅲ

K.K. (灘卒)

鉄緑会での6年間

僕は中1から6年間、鉄緑会にお世話になりました。中学時代は西宮北口教室に通い、英語・数学を受講しました。鉄緑会の授業はアットホームな雰囲気が進められていて、中学3年間の鉄緑会の勉強で英数の基礎力を確立できたと思います。中学時代は兄もお世話になった岡先生に部活と勉強の両立等について親身なアドバイスをいただきました。高1からは大阪校に通い、数Ⅲも受講しましたが、カリキュラムのレベルが高く、授業の内容も濃くなってきたので、疑問点はすぐに先生の所に質問に行きました。鉄緑会の先生方は皆熱心で、質問に丁寧に答えてくださいました。高2になり、物理・化学を受講しはじめてからは体力的・時間的にハードなこともありましたが、優秀な友達と切磋琢磨しつつ、いい意味での刺激を受けることができました。その甲斐あって、高2夏の時点で理Ⅲ合格に向けて十分な実力と自信をつけることができました。高3では、全教科を均等にコンスタントに勉強するよう心がけました。チューターの鶴田先生からの科目ごとのペース配分や3か月単位ですべきことなど、きめ細かく温かい御指導のおかげで、受験期も高いモチベーションを保ちながら、順調に過ごすことができました。6年間お世話になった鉄緑会には感謝の気持ちで一杯です。

最後になりましたが、岡先生、鶴田先生、井上先生、藤原先生、井之口先生、山本真義先生、栗山先生、その他お世話になった方々、本当にありがとうございました。

東大理Ⅲ

I.S. (灘卒)

僕は高2から数学、高3から英語・物理・化学を受講しました。

高2で入った時は数学・数ⅢともにBクラスでしたが、その後Aクラスに上がることができました。しかし英語はAクラスに上がることはできませんでした。それでも一生懸命に頑張って合格することができましたが、上のクラスを目指して早くから鉄緑に通うことをおすすめします。先生は各生徒の成績や傾向を見て、どこが弱いかを見極め、それぞれに合ったアドバイスをしてください。早く入塾するほどの確かな指導が受けられるのです。鉄緑では十分な演習量をこなしながら先生方の解説や補足説明を聞くことで、自分の実力を驚くほど伸ばすことができました。鉄緑の問題集やテストの量・質は日本一だと思います。しっかりと勉強すれば入試でどんな問題が出ても必ず対処できるようになります。予習・復習を大切にして、やった問題は確実に自分の力にして下さい。最後になりましたが、松坂先生、竹村先生、岩重先生、渡部先生、1年間でしたが、ご指導ありがとうございました。そして鶴田先生、井上先生、藤原先生、講習だけでしたが、たくさんのお話を教えて下さりありがとうございました。

東大理Ⅲ

U.M. (灘卒)

※2013年度東大理Ⅲトップ合格

僕は高1からは英語を、高2からは英・数・物・化を鉄緑会で学びました。中学生のときから運動部に所属していましたが、鉄緑会に通い出す前は、部活から帰ると疲れていつも勉強しないまま1日を終えていました。部活も勉強もおそろかにしたくなかったので鉄緑会に通うことにしました。

鉄緑会のよさは3つあります。一つ目は演習量の豊富さです。毎回充実した復習テストや実力演習があるのは、数ある塾のなかでもほぼ鉄緑会だけでしょう。それによって習ったことが本当に身についたかどうか確認することができます。演習量の多さはまた受験当日の心の支えともなり、僕は自信をもって試験に臨むことができました。二つ目は、通っている生徒のレベルの高さです。他の受験生のペース（例えば今の教科をどれくらい勉強しているかなど）を知ることは、他のどこで聞くアドバイスよりも信頼できます。三つ目は、授業の始まりが18時で比較的遅いことです。僕は毎日塾がある日でも1時間半部活の練習をすることができました。また、学校行事にも積極的に参加できました。一度きりの高校生活を妥協なくすごすことができ、鉄緑会に行くと本当によかったと思います。最後になりましたが、お世話になりました鶴田先生、岡先生、井上先生、藤原先生、岩重先生、井之口先生には大変感謝しています。ありがとうございました。

東大理Ⅲ

U.K. (灘卒)

受験勉強の王道

中3の途中から数学、高2の初めから物理、後期から英語を受講しました。鉄緑会に入ったおかげで合格できたのですが、鉄緑会の素晴らしいところは大きく2つ挙げられると思います。

まず、圧倒的な量と質があります。特に数学に関しては、鉄緑会の宿題さえ真面目にやればおのずと力がつくといっても過言ではないほどの緻密なカリキュラムだと思います。宿題と学校でのクラブや行事などの両立は困難ではないかと思うかもしれませんが、むしろ、受験勉強を鉄緑会での課題に絞る方が、他の勉強はあまりしなくてよく、安心して学校での活動に励めると思えます。二つ目として、鉄緑会のライバルは間違いなく日本最高水準

です。自分がそのライバル達に比べどれだけの実力にあるのかを把握しながら切磋琢磨できるのは、最高の環境だと思います。

最後になりましたが、鶴田先生、岡先生、熊谷先生、井之口先生、その他お世話になった方々に本当に感謝しています。ありがとうございました。

東大理Ⅲ O.M. (灘卒)

本当に合格したいのなら鉄緑会へ入ろう

僕は中3から鉄緑会に入りました。鉄緑会の良さはやりごたえのある多くの教材を提供してくれること、非常に頭の良い教師が教えてくれること、そして全国屈指の天才達がいることです。中学の頃から鉄緑のテキストをやっていたら中高6年間で学習量は日本でしょ、なんとといっても質が良いです。気がつけば成績が上がっています。また、先生方は自分が目標とする入試を突破した先輩ばかりなのでアドバイスを本当に役に立ちます。クラスにいる天才達は本当に何度も僕の心を折ってくれましたが、そのおかげで一度も驕ることなく4年間地道に勉強を継続することができました。鉄緑会に入っていないのなら、東京大学理科Ⅲ類に合格することは決してなかったらと思うと思います。鶴田先生、藪下先生、藤原先生、井之口先生、その他お世話になった先生方、本当に感謝しています。ありがとうございました。

東大理Ⅲ K.M. (灘卒)

僕は今年東京大学理科Ⅲ類に合格できましたが、僕が合格できたのはほぼ100%鉄緑会のおかげです。鉄緑に通うということがたくさんあります。まず、最高レベルの教材で勉強することができます。しかも、最後まで必要十分な問題を提供してくれるので、演習という面では他塾の生徒と圧倒的な差をつけられます。次に、先生が全員受験経験のある方なので非常に心強いアドバイスが聞くことができます。最後に、周りに頭のいい同級生がたくさんいるので、互いにいいライバルとして競いあいモチベーションを保って勉強ができます。また、周りの中での順位が非常に参考になり、普段の復習テストなどでの順位を見て自分の勉強の度合を調節できます。これは鉄緑ならではの利点だと思います。このように、鉄緑は現役合格のための一番の近道であり、楽に合格したければ是非鉄緑会に入会することをおすすめします。

東大理Ⅲ K.Y. (灘卒)

僕は高2から数学で、高3からは英語も鉄緑会にお世話になりました。野球部を高3の夏まで続けていたので、周りより少し遅れをとっていた受験勉強でしたが、先生方の御指導により、無事合格することができました。鉄緑会の魅力は、その教材の圧倒的な量と質、そして周りの人達のレベルの高さだと思います。しかし、先生方の様々な面でのサポートが無ければ、途中でやめてしまっていたでしょう。特に鶴田先生は、部活と勉強の両立を積極的に応援して下さい、最後まで精神面でも非常に頼りになりました。最後になりましたが、合格に導いて下さった、鶴田先生、森田先生、藪下先生、そしてその他お世話になった方々には本当に感謝しています。ありがとうございました。

東大理Ⅲ K.N. (灘卒)

僕は中1から6年間、鉄緑会でお世話になりました。鉄緑会の特に良い点は、毎週復習テストがあること、周りのレベルが非常に高いこと、教材の問題集の難度・量が優れているということです。復習テストがあることにより、毎週毎週継続的に勉強する習慣が身につきます。また、毎週の学習により実力が身につく、高3頃には入試実戦レベルに達するということになります。さらに、同

じクラスにいる人達のレベルが高いため、少し良い成績を取ったからといって慢心する余裕などはなく、常に向上心を持って勉強し続けられます。鉄緑会の教材は質・量共にレベルが高く、集中してやり込めば実力は確実に向上します。特に問題集は何度も解き直しました。先生方は分かりやすい授業を提供して下さっただけでなく、親身になって面談して下さいます。受験勉強がうまくいかなかった時は励ましていただき、具体的な解決案をアドバイスして下さいました。

最後になりますが、お世話になったたくさんの先生方、事務の方々に、本当にありがとうございました。

東大理Ⅲ K.S. (灘卒)

僕は中1から6年間鉄緑会にお世話になりました。鉄緑では、質・量ともにトップクラスの教材に出会えるだけでなく、レベルの高い集団の中に身を置くことができるため、仲間と互いに切磋琢磨して学力を伸ばすことができます。また、部活や学校行事で忙しいときでも最低限鉄緑の宿題をこなしていれば大丈夫という安心感を得られるのも、鉄緑の魅力の一つです。そして最後に、数学だけでなく様々な面で相談のついでに下さった鶴田先生、気がゆるんでいた僕を時に厳しく、時に優しくしめて下さった物理の岩重先生、僕の英語を苦手科目から得意科目に変えて下さった岡先生、宿題の提出が甘くても最後まで見捨てずに化学を教えて下さった渡部先生、その他お世話になった先生方、事務の方々に本当に感謝しています。ありがとうございました。

東大理Ⅲ S.K. (灘卒)

僕は鉄緑会に中学3年生の前期から通い始めました。鉄緑会の魅力は激しい生存競争と講師のレベルの高さです。半年ごとの校内模試に基づいてクラスが編成され、塾生全員がその模試で上位クラスを目指すという形態が非常に理想的です。講師の方々も類を見ないほどの情熱と能力を持った先生方ばかりでした。僕は得意科目が英語であるにもかかわらず、なかなか最上位のクラスであるSAに上がることができず、高校3年生にあがる時によく間一髪でSAに上がることができました。数学では結局一度もSAに入ることはできなかったのですが、英語で最上位クラスに入ったことが僕の大きな自信につながったと思います。高校3年生になり、秋の大手予備校の模試で満足のいく成績が残せなかった時も、担任の先生との面談が大きな励みになり、12月からの追い込みの原動力となりました。センター、二次試験本番に下さったメールにも非常に勇気づけられました。最後になりましたが、僕を合格に導いて下さった数学の竹村先生、英語の藪下先生と井上先生、化学の渡部先生、物理の湯浅先生、その他お世話になった方々、本当にありがとうございました。

東大理Ⅲ I.M. (洛南卒)

今から思えば中1のときに鉄緑会に入塾したことが「当たり」だったのだと思います。6年間テストゼミや宿題として与えられた演習は量と質共に高く、それらを理解しようとするだけでかなりの力がついたと思います。また、先生は皆親しみやすい方ばかりで、勉強に対する不安も打ち明けやすく、いつもの確かなアドバイスを下さいました。さらに、周りを見ればレベルの高い生徒ばかりで、常に刺激をもらえたのも大きかったです。鉄緑会に入っていて良かったとつくづく思います。鶴田先生、井上先生、藤原先生、井之口先生、岩重先生、そして鉄緑会に6年間通わせてくれた家族には本当に感謝しています。ありがとうございました。

東大理Ⅲ

F.M. (洛南卒)

鉄緑が最強な理由

私が鉄緑に入ったのは中1の春で、以来6年間お世話になりました。鉄緑の最大の魅力は、周りの人達のレベルが非常に高いということです。びっくりするほど優秀な人達と机を並べて勉強できるという環境は、受験勉強をする上で最高の環境でした。もちろん、あまりのレベルの高さにへこたれそうになったこともしばしばです。そんなときでも、先生方の親切なアドバイスもあり、結局はその高い壁のおかげで自分も成長できました。なによりレベルの高さが、入試本番での精神衛生にプラスに作用してくれます。やはり入試で最後に大切なのは、本番で力を出しきること、それができる強さです。鉄緑の教材は、量と質の両面において、やれば実力が十二分につくものです。なので、本番で受かる力は鉄緑でやるべきことをやれば必ずつきます。それと、周りの人達のレベルが高いのでトップの上限を知ることができ、これが本番で実力を発揮する強さにつながります。こういうわけで、鉄緑に通えば入試に必要なものが全て身につきます。

私は6年間鉄緑に頼りきりだったので、今春の合格は鉄緑なしでは考えられませんでした。先生方は素晴らしい人達ばかりで、鉄緑に来るのが毎日楽しくて仕方ありませんでした。藤原先生、井上先生、井之口先生、そしてチューターとしてもお世話になった鶴田先生には本当に感謝しています。事務の方々も含め、鉄緑会、本当にありがとうございました。

東大理Ⅲ

Y.A. (神戸女学院卒)

私は中1から鉄緑会に通いました。鉄緑会には気さくで素晴らしい先生方、勉強のライバルでもあり仲間でもある周りの生徒達がたくさんいて、とても良い刺激を受けました。先生方はかっこいい目標像であり、受験のことだけでなく様々な面でアドバイスをいただきました。また、密度の濃い宿題や様々な演習問題を繰り返し解くことで、初めて見る難しい問題に対しても、恐れずにチャレンジしてみようという心構えを身につけることができました。私が合格できたのは本当に鉄緑会のおかげです。英語の井上先生、数学の鶴田先生・森田先生、化学の田口先生・藤原先生、物理の井之口先生・岩重先生、その他お世話になった全ての方々から感謝しています。ありがとうございました。

京大医学部

S.H. (灘卒)

鉄緑会の魅力

中学生の時はあまりに勉強しておらず、高校生から鉄緑会で勉強を始めた時は、そのレベルの高さに戸惑いました。それでも授業を受けて、宿題をこなしていくうちに、塾内の順位にも手ごたえを感じるようになりました。鉄緑会のカリキュラムが素晴らしいことは言うまでもありませんが、それ以上の魅力は共に勉強していく友達と、勉強を教えていただく先生方にあると思います。

よく一緒にいた友達は、いつも模試で上位を占めており、そのおかげでモチベーションが低くなることはありませんでした。そして彼らには勉強だけでなく、考え方や勉強に対する姿勢を教わりました。漠然と志望校を考えていましたが、京医を志望することを3年秋に決めたのも、彼らからの影響でした。

先生方にも大変お世話になりました。模試の成績が悪い時、志望校をどうするか悩んだ時、成績が上がらず困っている時、試験当日にブルーになっている時、先生方には何度も何度も相談にのっていただきました。また今村先生には直前の時期に毎日1時間以上、英語の添削・解説をしていただきました。その結果、苦手な英語が本番に間に合いました。

最後になりましたが、お世話になりました先生方と事務の皆様、ありがとうございました。

京大医学部

S.Y. (灘卒)

僕は高1からの3年間、鉄緑会にお世話になりました。鉄緑会の教材は質が良いだけでなく量も多いため、はじめの頃はかなり苦労しましたが、それをこなしていくうちに段々ペースが掴めてきて、実感はあまりなかったのですが、成績も上がっていったのだと思います。また、鉄緑会の長所には環境の良さも挙げられます。通う生徒のレベルがとても高く、互いに切磋琢磨し、教え合うことで自分の学力も伸ばすことができたのだと思います。僕の学校でも上位層はほとんど鉄緑会に通っていたので、これは他塾では得られない環境だと言えるでしょう。

最後に、鉄緑会の先生にはとても感謝しています。先生方は、ただ勉強面での指導をしてくださるだけでなく、精神的な面でもサポートしてくださいました。また、自分の志望校に通う先生も多く、年も近いので、より具体的なアドバイスをもらえました。僕を合格に導いてくださった岡先生、森田先生、岩重先生、渡部先生、その他お世話になった方々には感謝してもしきれません。本当にありがとうございました。

京大医学部

O.M. (洛南卒)

※2013年度京大医学部トップ合格

今春第一志望校の京大医学部医学科に合格させていただくことができました。私が合格することができたのは、鉄緑会の素晴らしいカリキュラムはもちろんのことですが、全国でもトップレベルの人達が集まり、毎週の復習テストで競い合うことができたからだと思います。鉄緑に行っていたからこそモチベーションを保つことができたのだと思います。

最後になりましたが、お世話になった鶴田先生、井上先生、岡先生、藤原先生、井之口舜亮先生、本当にありがとうございました。後輩の皆さんも最後まで気を抜かず頑張ってください。

京大医学部

K.A. (洛南卒)

私は高1の始めから鉄緑会に通い始めました。鉄緑は授業も教材もとても質が高いと感じましたが、とりわけ私が恐れ入ったのは校内模試です。皆の本気で取り組む姿を目の当たりにして、高校から入った私は「こんなことを中学からやっていたなんて、どうりで鉄緑の子は賢いはずだ!」と圧倒されました。

特に高3のクラス分けが決まる校内模試は、私にとって受験勉強のターニングポイントとなり、この後の面談から「受験モード」に切り替わり、高3の1年間はよそ見をせずに勉強と取り組むことができました。私が第一志望に合格できたのは、このような鉄緑のシステムと先生方のおかげです。チューターの鶴田先生をはじめ、高3でもっていただいた岡先生、岩重先生、そして今までお世話になった先生みんななど、鉄緑で出会った人全てに感謝しています。ありがとうございました。

京大医学部

T.A. (洛南卒)

数学は中3の1月、英語は高1、物理と化学は高3から受講しました。学校は「塾なんて通わなくても大丈夫」というスタンスだったのですが、中3で鉄緑に入ると、その差は圧倒的なものでした。そのため、高1の間は周りの人との差を埋めることに必死でした。高2では、全ての科目をとると週に5日(!)となってしまうので大変ですが、受講しておくで後々楽だと思えます。実際、僕はその大変さを避けて高3から理科をとりましたが、高3では相当苦労しました。割と得意だった物理も鉄緑では普通。普

通だと思っていた化学はかなりヤバイ状況だったので、よほどの自信がない限りこの選択はオススメしません。

鉄緑の長所は、他の塾とは比べ物にならない演習量があることと、全国トップレベル、それも何十番、何百番というレベルではなく10本の指に入るレベルの生徒が集まっていることだと思います。自分でこれだけの量をこなすのは至難の技であり、またこれだけのメンバーと出会えるところは他にありません。入ろうか迷っている人や科目を追加しようか迷っている人がいるならば、できるだけ受講してしまわず間違いないでしょう。後は置いていかれないように努力すればきっと合格へと導いてくれます。

最後になりましたが、井上先生をはじめ、鶴田先生、井之口先生、渡部先生、岡先生、森田先生、藪下先生、竹村先生、講習でお世話になった先生方、本当にありがとうございました。

京大医学部 T.T. (洛南卒)

最高の環境

僕が鉄緑会に入ったのは中学2年のときでした。ただ、中学生の時はあまり勉強に身が入らず、鉄緑での成績もいまいちでした。しかし、高校1年になって英語SAに奇跡的に返り咲いたときに、周りは自分よりはるかに優秀で、学校とは比べものにならないくらいハイレベルな環境に圧倒されました。そこから「このままではいけない」と心の底から思い、やっと勉強に身が入るようになりました。そして気付けばその他校の生徒とも友達になっていて、互いに切磋琢磨できたおかげで合格できたのだと思います。確かに、塾という場所は勉強をする場所ではありますが、積極的に友達を作った方が勉強も楽しいし、自分の成績も周りに引っぱり上げてもらえます。鉄緑でできた友達にはとても感謝しています。このような環境は鉄緑以外では味わえません。また鉄緑の先生方は、とても気さくで、親身になって生徒のことを考えてくれます。僕もよく面談をしていただきました。チューターであり、4年間お世話になった井上先生をはじめ、鶴田先生、藤原先生、井之口先生、置塩先生など、数多くの先生にお世話になりました。本当に感謝しています。ありがとうございました。

京大医学部 D.K. (洛南卒)

僕は中2から英語、中3から数学、高1から化学、高3から物理で鉄緑会にお世話になりました。

「鉄緑会はドーピング」と言われるぐらい、正直、鉄緑会が合格する上では一番堅いと思います。鉄緑会には3つの大きなメリットがあると思います。それは進度が速いこと、先生が自分たちの先輩であること、周りの生徒が優秀であることです。勉強するのに1番良い事は楽しみながら勉強できることですが、周りの子よりも成績が低ければ、余裕もなく楽しみながら勉強などできません。その点、鉄緑で先行して授業を進めることは楽しめる助けになると思います。また、先生が自分たちの先輩である学生であることで、生徒の気持ちをよく理解してくれましたし、授業中の話も面白かったです。そして何よりも周りの生徒が優秀です。ここまで頭の良い同級生に囲まれることはこれまでにないことで、非常に刺激になりました。

最後になりましたが、熱心に教えてくださった先生方、特にお世話になった、藪下先生、竹村先生、藤原先生、井之口先生、中西先生、本当にありがとうございました。

京大医学部 H.S. (洛南卒)

僕は中2の時に数学と英語を、高2の時に物理を、高3の時に化学を受講し始めました。ただ、化学を高2ではなく高3から始

めたのは失敗で、入試の直前期まで苦勞し続けたので、大変かもしれませんが高2から受講すべきだったと思います。

校内模試があるのは、鉄緑の強みの1つだと思います。校内模試のおかげで入試のない中2～高2でも高いモチベーションを維持した状態で勉強をすることができて、自信を持って本番に臨めたと思います。それから、鉄緑の先生たちは、勉強面は言うまでもなく人間的な面も優れた人たちばかりで、いつでも頼りになる先輩でした。このように僕が第一志望に合格できたのも全て鉄緑のおかげであり、鉄緑には感謝してもきれないです。

最後になりますが、チューターの井上先生をはじめ鶴田先生、井之口先生、渡部先生またその他の多くの先生方には長い間本当にお世話になりました。ありがとうございました。

京大医学部 Y.K. (洛南卒)

僕は鉄緑会に入会したのが高2の9月で、周り比べて遅かったので、最初は周りとの差を感じ不安でしたが、鉄緑会の教材は量・質ともに充実しており、それをこなしていくだけで自然と力がついてきました。特に、入会したときはお世辞にも得意科目とはいえなかった数学は、高3の夏や秋ぐらいになると模試の得点源になり、鉄緑会の教材のすごさを改めて実感しました。また、周りのレベルも高く、毎週のテストゼミでは平均点を取ることも簡単ではなかったので、本番と同じように緊張感をもってテストに取り組むことができました。このようなすばらしい環境を提供してくれる塾は、おそらく鉄緑会以外にはないでしょう。入試前は何かと不安になることも多いですが、鉄緑会の教材をしっかりやれば自信がつき、精神的にも余裕をもって入試に臨めると思っています。最後になりましたが、数学の鶴田先生、森田先生、竹村先生、物理の岩重先生、化学の藤原先生、その他お世話になった方々に本当に感謝しております。ありがとうございました。

京大医学部 T.K. (附池卒)

最高のライバルたち

私が鉄緑会に通っていて最もよかったと思うことは、最高のライバルたちに出会えたことです。鉄緑生は皆レベルが高く、切磋琢磨するにはまたとない環境です。計算された教材の良さに加え、生徒一人一人の努力も重なるのですから、その圧倒的な合格実績もうなずけます。同時に、生徒どうしや先生と生徒の仲間意識も強く、とても居心地のよい塾でもあります。このように素晴らしい環境を与えてくださった全ての方々に感謝いたします。

京大医学部 N.Y. (清風南海卒)

私は高1の4月から3年間、数学と英語で鉄緑会にお世話になりました。鉄緑会に通うことのメリットは、非常にレベルの高い仲間と切磋琢磨し続けられることだと思います。このような環境に身を置くことで、長い受験生活の間、常にモチベーションを保つことができたと思います。また、先生方は自分が目指す学校に通っておられる方が多いため、とても尊敬でき、信頼できることも鉄緑の良い所だと思います。3年間鉄緑に通い続けて本当に良かったと思います。最後に、お世話になった井上先生、藪下先生、毎週何時間も相手をして下さったチューターの竹村先生、その他教えて下さった諸先生方、本当にありがとうございました。

阪大医学部 O.S. (甲陽卒)

鉄緑会での6年間

鉄緑会では中1から6年間お世話になりました。鉄緑会の英語、数学は中学で基礎を固めます。これは高校から入ってくる人

に比べて大きなアドバンテージとなるので、中学のうちから鉄緑に通うのをおすすめします。また、自分はこの中学生の間に他校の友だちをたくさん作ることができました。

高校に入ってからは物理や化学も始まり、特に高2の頃はずっと自習室で勉強しました。高3になって学校行事に精を出すことができたのはここで頑張ったからだと思います。英語の成績が安定しませんでした、岡先生に何から何まで面倒を見てもらい、苦手意識が嘘のように消えました。得意の数学は、甲陽の大先輩でもある竹村先生と大倉先生、さらには鶴田先生、森田先生にお世話になり、自分の数学力をよりいっそうのばすことができました。受験に向かって最後まで頑張ら抜けたのは、このようにたくさんの先生方や友人の支えがあったからです。特に先生方は多くが現役大学生で、大学生活のことも直接聞くことができ、モチベーションの維持にもなりました。岡先生、井上先生、竹村先生、大倉先生、鶴田先生、森田先生、渡部先生、藤原先生、井之口先生、岩重先生ありがとうございました。

阪大医学部 K.Y. (金蘭千里卒)

私は中学1年から6年間、鉄緑会にお世話になりました。鉄緑会の最大の魅力は、先生方がいつでも親身になって質問に答えて下さったり、相談にのっていただけることだと思います。高3では英語・数学に加え、理科とセンター試験の勉強により力を入れないといけなくなり、また、学校の行事も多く大変でしたが、塾の仲間や優しい先生方に元気づけていただき、1年間頑張ることができました。チューターの井之口慶太先生、6年間面倒を見てくださった井上先生、細かいアドバイスをたくさんいただき感謝しています。英語科の岡先生、今村先生、数学科の井之口先生、岡先生、森田先生、渡辺先生、物理科の井之口先生、松本先生、湯浅先生、化学科の田口先生、渡部先生、クラスが変わっても声をかけて下さってありがとうございました。その他の先生方、事務の方々、本当にありがとうございました。

阪大医学部 K.K. (洛星卒)

僕は中2の秋から鉄緑に入っていました。鉄緑はレベルの高い塾だと聞いていたのでついていけるかどうか不安でしたが、本当に基礎的なことから教えて下さったので、無理なく基礎学力をつけられたと思います。学年が上がるにつれ演習量も増えて（僕のプリントファイルはどれも爆発寸前でした）大変でしたが、先生方が親身になって相談に乗って下さり、要領のいいこなし方などについても具体的にアドバイスしていただきました。

僕はセンターで大失敗をしてしまい、久々に泣いてしまったほどでした（ポードより50点程下でした）。が、最後の最後まで先生方に励まし、指導していただきました。特に英語の岡先生には2次の直前まで英作文の添削をしていただいていた。先生方は皆、このように熱心で親しみやすい方ばかりだったので、安心して勉強していくことができました。また、鉄緑の先生は現役の大学生の方も多く、志望校のホットな情報を提供して下さったので、モチベーションの維持もしやすかったと思います。

最後になりましたが、僕を合格へ導いて下さった英語の岡先生、藪下先生、数学の森田先生、大倉先生、物理の岩重先生、化学の田口先生、本当にありがとうございました。

阪大医学部 N.H. (府立北野卒)

僕は高1から鉄緑会に通い、高2高3では英数物化すべての教科を受講していました。鉄緑会のカリキュラムと演習量はとても充実しています。高3になるまでに全教科受験に必要な基本事項

は全て教わります。そして、高3になったら、テストの演習などを含めて試験でいかに多くの点数をとるかという実戦的な力が鍛えられます。毎回のテストは受けた次週に順位表がでるのでクラス内の自分の立ち位置が分かります。また、周りの生徒も難関校を目指すレベルの高い人ばかりで自分もモチベーションを保つことができました。鉄緑会の先生方には勉強面でも精神面でも支えてもらいました。藤田先生、森田先生、井之口先生、渡部先生をはじめ諸先生方にはとてもお世話になりました。本当にありがとうございました。

東京医科歯科大医学部 I.H. (洛南卒)

私は中1から鉄緑にお世話になっていましたが、学校の部活で忙しくて出席できないことも多く、実質鉄緑会に通い始めたのは高2になってからです。高校時代は好きなことも色々やっていたので、鉄緑の授業の予習・復習と宿題をやるので精一杯でしたが、鉄緑会の中で流れているムードに遅れずしっかりついていたら、不思議と成績が伸びてきました。今、一通りの受験勉強を終えて過去を振り返ってみると、自分は鉄緑会に入っていて本当に良かったとつくづく思います。鉄緑の特徴は何といても、扱う一つ一つの問題の質がとても高く、大事なことがきっちり定着するように授業がプログラムされていることです。また、先生との年はそれほど離れていないのでとても話しやすいですし、周りのレベルがすごく高いので、油断することもなく、そういう人々と情報を共有することで自分の一番効率の良い勉強法を見つけ出すことができます。そのような鉄緑会とご縁があったことを本当に光栄に思ってますし、感謝しております。担当して下さった先生方、特に高3でお世話になった岩重先生、足立先生、大倉先生、チューターの田口先生には感謝の気持ちで一杯です。

名古屋大医学部 A.H. (東海卒)

僕は中1から鉄緑に6年間通いました。名古屋から通っていたこともあり初めは大変でしたが、中2中3と学年が上がるにつれ段々と慣れていきました。鉄緑の長所は、進度の速さ、演習量の多さ、そして周りの生徒や講師のレベルの高さです。進度が速いため入試演習も早く始められるので、学力向上はもちろん、精神的にもラクになれました。また、他を圧倒する演習量は自分に絶大な自信を与えてくれます。そして、周りのレベルの高い仲間達と切磋琢磨することで、モチベーションを維持できました。辛いときも、他の皆が頑張っているんだからとすることができ、そういう踏ん張りの積み重ねに支えられここまでこれたと思います。講師の方々はいつも親身に相談のってくださり、本当に頼もしかったです。最後になりましたが、これまで教えて下さった多くの先生方、事務の方々、本当にありがとうございました。特に森田先生、藪下先生、鶴田先生、渡部先生には本当にお世話になりました。ありがとうございました。

京都府立医大医学部 S.M. (四天王寺卒)

私は6年間鉄緑会でお世話になりました。中学生の頃は総復習テストや校内模試が定期的であり、自然と勉強する習慣が身につきました。高校生になり、教科が増え、宿題だけで精一杯という時期もありましたが、授業進度が速いぶん後で自分で見直す期間がとれました。鉄緑の問題は難しく、ついていけないことも多々ありましたが、東大・京大志望の優秀な友達と一緒に勉強ができるのはやる気につながりました。そして何より、先生方は1人1人の生徒を見て下さいます。センターの後、今年は無理かな……と思っていた私を、最後の最後まで学習面・精神面において支え

ていただいた先生方には本当に感謝の思い一杯です。岡先生をはじめ、鶴田先生、竹村先生、岩重先生、渡部先生、その他6年間でお世話になった先生方、本当にありがとうございました。

京都市立医大医学部 I.T. (附池卒)

私は中学1年から6年間鉄緑会にお世話になりました。私が思う鉄緑会の魅力は、何と言ってもレベルの高い先生と生徒がいることです。先生方は丁寧な解説をして下さいましたし、質問すると理解できるまで教えて下さいました。また、生徒は高3でなくても高い志を持って常に懸命に取り組んでいるので、早い段階で勉強する習慣が身についたのだと思います。ただ、私が後悔しているのは「化学と数学を早くやれば良かった」ということです。高2の時サボり過ぎてクラス最下位に慣れてしまい、弱点を放置したまま高3を迎えてしまいました。周りの人が難しい問題集を解いている中で自分はひたすら基礎に取り組むというのは辛かったですし、模試の結果も悪く焦りました。そんな中助言を下さったチューターの渡部先生、奥野先生、水野先生、松本先生には本当に感謝しています。最後まで鉄緑一筋で頑張れて良かったです。ありがとうございました。

滋賀医科大医学部 S.M. (附池卒)

部活！E判定！あきらめない！

私は中学1年生から鉄緑会にお世話になりました。私は高校3年生の春までずっと部活中心の生活でした。そのため鉄緑会の授業はほとんど遅刻、欠席もかなり多かったのですが、先生達には両立を応援し、支えてもらいました。高校2年生までは鉄緑の宿題しかしていませんでしたが、それだけはどれだけ部活が忙しくても欠かすことはなかったです。これでもかなり実力がつきました。それくらい鉄緑の宿題というのは素晴らしいものと思います。また、先生と生徒の距離が近いのも良い所です。分らないところはすぐに質問でき、悩みがあったらすぐに相談できます。

センター試験では、今年の難化以上に想像を絶する程の失敗。リサーチはEでした。諦めかけていたし、出願してから精神不安定の日々が続きましたが、その時に支えてくれたのは鉄緑の先生でした。先生達の勉強と精神面での支えがなければ私の合格はあり得なかったと思います。そして、皆さんも例えEでも諦めない下さい。鉄緑会で培った二次力はすばらしいものです。

最後になりましたが、大倉先生、林先生、物理未習の私のために、補習までしてくれた湯浅先生、いつも励ましてくれた、チューターの中野先生、そして、講習、質問などで関わった全ての先生、本当にありがとうございました。

和歌山県立医大医学部 T.S. (神戸女学院卒)

鉄緑会には中1から6年間お世話になりました。中学の間は勉強にあまり熱心でなく、高校に入ってからそのツケが回ってきて追いつくのにも必死でした。また、高校に入ってから、学校行事に積極的に参加したり、部活に入ったりしたこともあり、大変なこともありました。先生が親身に相談に乗ってくださいました。高3では先生に精神面が弱い私のお話をよく聞いていただきました。本当に感謝しています。ありがとうございました。

東大文 I I.A. (灘卒)

圧倒的な質と量

鉄緑会には中3の春から数学で、高1からは英語も加えてお世話になりました。どちらの教科もしっかりとした内容の問題集を大量にこなすという正に王道とも言うべき方法で実力をつけていただきました。数学は特に文系の僕には大変苦しいものでした

が、目の前の課題を消化していく内に多くの経験値を得ることができました。高3の1年間は文系クラスで中西先生にお世話になりましたが、多彩な問題と驚く程丁寧な解説のプリントで引っぱり上げていただき非常に助かりました。英語には高1から3年間井上先生にお世話になりましたが、受験英語という枠組みの中にあつても英語という1つの言語の持つ本質に近付くことのできる授業で、楽しみながら学ぶことができました。最後になりましたが、最後まで親身になって相談に乗っていただき支えて下さった中西先生、井上先生、本当にありがとうございました。

東大文 I S.S. (滝川卒)

東大に合格した。今は純粋にただ嬉しいだけだけれども、もし鉄緑会に通い始めなければ合格はおろか、受けることさえ考えもしなかったのではないと思う。中3で入塾した当初は周囲との学力差に愕然とし、先ずは追い付こうと必死だった。宿題も多く毎週復習テストもあり決して楽な塾ではなかったが、鉄緑の講師の先生がおっしゃったことを信じて続けていくと成績も追いついて来たと思う。東大受験を考えたのも鉄緑会にいたがためであり、合格したのも中西・水野両先生の指導によるものだと思っている。受験が間近に迫った頃、妙に落ち着き払って自信を持って悠揚としていられたのは3年と少し鉄緑会で努力を積み重ねたからであつたと思う。長い間お世話になりました。

東大文 I M.I. (金蘭千里卒)

僕は中1から高3まで鉄緑会に通っていました。英語・数学のどちらも量・質ともに他には無いといつていいほど充実していました。量は1週間計画的に取り組まないといつていいくらいあり、質も学校で学ぶ内容ははるかに越えた高度なもので、完璧にすれば成績は絶対上がります。保証します。ですが、サボると伸びません。苦手意識だけが募ります。中3の時、積分・数列を初めて習ったときに僕は理解できなさすぎて、投げ出してしまいました。復習テストの点数はほとんど落ちて、いつの間やら最下位を争っていました。しかし、周りを見ていると、どうやら自分とは桁外れに努力している、自分は努力が足りないのだと気付きました。そうして、周りから刺激を受け、あの高密度・高レベルのテキストを隅から隅までマスターしてやろうと思い、結果、一気に上位に上がれました。自信が付き、問題を解くのが楽しくなり、何でも来い状態になりました(笑)。これも、高いレベルの層が集まり切磋琢磨するという極めて貴重な環境が存在し、テキストが網羅的でハイレベルであったことに由来していると今でも痛感しています。鉄緑会は進度が速いので、学校の予習代わりになり、学校で学ぶ内容は実質的には復習になります。なので、基本的には学校のテストでは困りません。簡単に感じられます。鉄緑会の先生のご指導も優れていて、ギャグ、興味深い話、叱咤、激励など自分を奮い立たせてくれました。ここまで頑張れたのも先生達のおかげだと思っています。本当に感謝しています。ありがとうございました！！

東大理 I I.D. (灘卒)

鉄緑会は大変そうと敬遠する人も多いでしょうが、その分実力がつきます。中学のうちは嫌になることもあります(実際、嫌になりました(笑))、そこで粘れば高3で必ずやってよかったと感じる日が来ます。先生方も頼れる方ばかりですし、年齢も近いので仲良くなりやすく、色々相談などしやすいと思います。それから、鉄緑会に入って最も自身の財産となったのは、友人です。鉄緑会はトップレベルの人々が集う場所です。友人と切磋琢磨

磨しながら、自分を高めていくうちに、気付くと自分もいわゆる「できる子」になっています。さあ、その君、鉄緑会に入って友人をたくさん作って下さい。

最後に、藪下先生、竹村先生、藤原先生、岩重先生を始めとするたくさんの先生方には大変お世話になりました。感謝してもらえませんが、本当にありがとうございました。

東大理 I

K.K. (灘卒)

6年間鉄緑会に通った意義

僕は中学1年生の初めから6年間鉄緑会にのみ通い、大学受験の勉強をして見事東大理Iに合格することができました。僕が鉄緑会に通って良かったと思えるポイントが3つあります。第一に、授業のレベルです。中学生の間に高校の範囲を一通り終わらせ、高校生の間は十分な演習を積むことができ、この圧倒的な演習量が他の受験生に対するアドバンテージになったのだと思います。第二に、先生が良いということです。先生は京大版大の学生が中心で、親しみやすくも、また、的確な受験のアドバイスをしてくれます。第三に、周りの環境が良いことです。僕は東大理I志望でしたが、周りは東大理IIIや京大医学部志望の人が多く、僕も東大理IIIに受かるくらいの実力をつけて受験に挑もうと思えたのはとても良かったと思います。あと、鉄緑に6年間通い続けたことも良かったのだと思います。中高一貫校ではどうしてもだらけてしまうことがあるのですが、鉄緑で頑張り続けたおかげで勉強に打ち込むことができました。とにかく、鉄緑は合格への近道だと思います！英語の藪下先生、数学の鶴田先生、物理の井之口先生、化学の藤原先生にはとてもお世話になりました。ありがとうございました。

東大理 I

D.K. (洛南卒)

僕は小学校の時仲の良かった友人に誘われて中1の4月に鉄緑会に入塾しました。鉄緑会がどんな塾か知らずに入塾したので、当初は周りの生徒の頭の良さに圧倒されました。また、鉄緑会が他の塾と大きく異なるのは毎週課される宿題の質と量です。あまりの多さに宿題が面倒になってやらずに毎週テストでクラスの底辺をさまよっていたこともありました。そんな時も鉄緑の先生方は僕を見捨てずサポートして下さいました。高3になってからも定期的に面談をしてもらったり英作文の添削をもらいました。鉄緑会はこのように先生と生徒の距離が近いのも良い所だと思います。東大に合格できたのも鉄緑会のおかげです。チューターの森田先生をはじめ、今村先生、岩重先生、藤原先生本当にありがとうございました。

東大理 II

Y.T. (灘卒)

※ 2013年度東大理IIトップ合格

自分は高1から鉄緑会に通っていましたが、入会した時は、中学から通っていた同級生たちに追いつくため必死に勉強しました。高2以降は生徒会の活動が忙しくなってきたため、あまり勉強時間がとれないのではないかと危惧していたのですが、なんとか時間を作って学校と鉄緑の課題をこなすうちに自然と基礎学力が身に付き、ある程度余裕をもって本番の試験を迎えることができました。鉄緑には本当に感謝しています。鉄緑の課題をこなすうちに自然と基礎学力が身に付いた理由は、やはり演習の量と質にあると思います。受験のどの教科においても避けては通れないのが演習量です。鉄緑では、質の良い問題と解説によって最も効率よく演習を積めると思います。当時は「こんな量をやるのは無駄ではないのか」と思うこともありましたが、今になって振り返る

と、あの量が最適だったのだと分かります。

最後になりましたが、丁寧な授業で数学を根本から教えこんで下さった大倉先生、数学の楽しさを伝えて下さった森田先生、わかりやすい解説で数学力を伸ばして下さいました竹村先生、数学だけでなく受験全体のサポートをして下さった鶴田先生、丁寧に自分の基礎英語力を固めて下さった池尾先生、英語力のツメが甘い自分に冗談を交えつつ喝を入れて下さった藪下先生、英語の思考回路を教えて下さり、また英語に留まらず人生の師として仰ぎたくなる井上先生、優しい人柄と丁寧な授業で化学の基礎を固めて下さった谷口先生、気が緩んだ時にはしっかり締めて下さった渡部先生、本当にありがとうございました。

京大法学部

K.T. (清風南海卒)

僕は中学2年から鉄緑会に入った。結構有名な塾であると感じ合いから聞きつけて入ってみた。しかしそこで最初に味わった苦難は、居残りがあるということであった。「9時に授業は終わります」と聞いていたのに、居残りで教室に残らなければならないとは！私は泣きそうになった。それはそれとして、中学3年生までは順調であった。しかし中3で中だるみしてしまい、高校生になった時に数学のクラスが下がった。しかもさらに苦しいことに、高校生になり英語・数学の課題演習量が増えた。私は悩んだ、それでも努力した。高3で英語のクラスは上がったが、センター試験が本当に悪かった。これまでの努力が水の泡になったと絶望した。それでも鉄緑会の勉強も含めて二次対策を行い、無事現役合格した。鉄緑会に5年間通って最も役に立ったのは、問題の演習量と知識の多さである。あれは他塾にはないすばらしい物である。中西先生、北井先生、藪下先生、水野先生。岡先生を始めとする多くの先生には感謝の気持ちでいっぱいである。

京大経済学部

M.S. (府立北野卒)

ぼくは中2の後期から鉄緑に入った。それまでは全く勉強もせず、怠惰な日々を送っていた。一念発起して鉄緑会に入ったものの、はじめは全く授業についていけず泣きそうだった。しかし、毎週の授業に取り組むうちに、少しずつ内容が分かるようになった。中学生のうちから鉄緑に入ってよかったと思う。

ぼくは中高6年間、ずっと部活をしていた。ときにはしんどく勉強したくなかったこともあったが、計画性をもって、毎日のすきま時間などを活用して、鉄緑の勉強だけはこなしていた。他塾であれば学校のこともして別の問題集もしてとヤヤコシイことをしなければならなかっただろうが、鉄緑会は信頼でき、これだけをやっておけば大丈夫と安心して勉強に臨めた。

あくまで計画的に、コツコツと鉄緑会の勉強を続けた結果、高3の部活引退後に成績は成績はみるみる良くなり、第一志望に合格できた。時には成績が低迷し、このままでいいのか、と悲しくなったこともあった。しかし、鉄緑会の素晴らしい先生方とテキストを信じて取りくんだことが、良かったんだと思う。ありがとう鉄緑、ありがとう井上先生、ありがとう大倉先生。

京大工学部

T.T. (洛南卒)

僕は高1の後期から、数学・英語、高2から数III・化学・物理を鉄緑に通いました。入った時には、噂通りの鉄緑生の学力に圧倒されて不安を感じたものでした。周りの点数などを見て、正直「一生追いつけないだろうな」と思ったりもしましたが、合格した今、考えてみると、この環境こそが自分を押し上げてくれた大きな要因であったように思います。鉄緑にいた2年半の間で「自分は賢い」と思ったことは一度もありませんでした。自分ははっ

きり言って勉強がきらいだったので、慢心が少しでも生じれば、やめるとまではいかなくとも、勉強のやる気は確実に、大きく下がっていたと思います。しかし、鉄緑の中では一切慢心は生じませんでした。危機感を持って、毎週の授業を受け、復習テストで一喜一憂し、多大な宿題をこなし、そして、校内模試に打ち込むということがなにより自然にすることができました。その結果、高3の各模試では良い結果を連発できたり、自然に第一志望校に合格することができたと思います。このように、京大に合格できたのは、本当に鉄緑のおかげです。今、改めて、2年半前に鉄緑会を選んだのは正解だったと心の底から思います。

京都工学部 K.R. (洛星卒)

私は高1から3年間鉄緑にお世話になりました。はじめ入って思うことは、やはり課題の量が多いという事です。こうした多くの課題を1週間でうまくこなしていけるようになるまでは大変でしたが、こなせるようになれば、どんどん成績が上がっていくのを感じました。また、鉄緑の生徒は非常にレベルが高く、学校で上位をとっていても鉄緑では下位、という事も有り得ますし、その点でも鉄緑に入って、レベルの高い人たちを身近に感じる事ができ、とてもいい勉強になったと思います。最後にお世話になりました岡先生、奥野先生、田口先生、松本先生、教えていただいたすべての先生方、本当にありがとうございました。

京大農学部 K.A. (六甲卒)

中学に入学する時、何も分からないまま父にすすめられて入塾したのが鉄緑との出会いでした。中学入試が終わり、勉強する環境が一切無くなる中で、唯一勉強の習慣を僕に残してくれたのが鉄緑でした。中1からカリキュラムに従い、宿題を毎週こなすというのを当たり前のこととして体に染み込ませられていたもので、まわりの人が受験モードに入る時には既に大きなリードが自然と得られていたのだと思います。それを思うと、中1の頃に無理矢理にでも僕を鉄緑に入れてくれた両親に対する感謝の気持ちが湧いてきます。また、塾のカリキュラムやシステムもさることながら、色々な学校の人と友人になれるというのも鉄緑の大きな魅力でした。塾を掛け持ちして分かったことですが、鉄緑では色々な学校の人が混在し、にもかかわらず学校の垣根をこえて多くの人が仲良くやっています。自分もその一人で、色々な学校の人で、辛い受験を切り抜けようと競い合いはげましあう仲間と出会うことができました。それは自分にとって本当に心強いことで、そしてそのような塾はなぜか鉄緑だけでした。高3まで続いた部活や学校行事の準備等でしんどい時期もありましたが、鉄緑で出会えたみなさんのおかげでこうして受験を終えることができました。本当に僕は幸せ者でした。

阪大工学部 M.A. (金蘭千里卒)

中1から6年間鉄緑会でお世話になりました。鉄緑会は、他の塾とは違って毎週の復習テストや宿題があり、きちんと毎週こなすと校内模試で上のクラスへ上がることもでき、とてもやる気が出ました。私は国立受験を受験するのが不可能ほどセンター試験で失敗してしまい、センター後に急遽志望校を変えることとなり、センター直後はずっと泣きながら勉強をしていました。しかし先生方にとっても励ましていただき、2次の勉強もじっくり取り組むことができ、無事合格することができました。途中で辛くなった時、長い時間親身に相談にのって下さった先生方には本当に感謝しています。鉄緑会なしではこの受験のりきれなかったと思います。最後に、授業を担当して下さった先生方、面倒を見

ていただいた鶴田先生、井之口舜亮先生、そしていつも支えて下さった奥野先生、本当にありがとうございました。